

シスター・プレジャンさん来日企画

シンポジウム

- 宗教は死刑とどう向きあっているか -

命の尊さについて深く思いをいたせば、殺されてしかたのない命というものが、はたしてあってよいものでしょうか…。映画「デッドマン・ウォーキング」の原作者、シスター・ヘレン・プレジャンさんもゲストに交えて、宗教は死刑とどう向きあっているかを考える機会にしたいと思います。

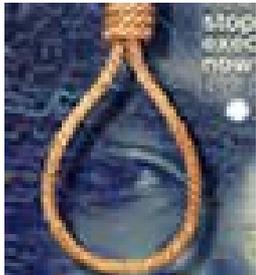
【日 時】2005年5月23日(月) 18:30~20:30

【会 場】天使幼稚園 2階ホール (山口市亀山4-1 サビエル記念聖堂付近)

【参加費】500円

【出席者】

ヘレン・プレジャンさん (メダイコ聖ヨゼフ修道女会シスター)
高木日出喜さん (宗教法人大本)
田中大道さん (曹洞宗・仁平寺住職)
ヴィタリ・ドメニコさん (徳山・下松カトリック教会神父)



シスター・ヘレン・プレジャン (Sister Helen Prejean)

『デッドマン・ウォーキング (Dead Man Walking)』(邦訳は徳間文庫で96年に出版)の著者として知られる。本書を題材にした同名の映画は、96年1月に公開されアカデミー賞を受賞。シスター・プレジャンは、1939年、米国ルイジアナ生まれ。57年からメダイコ聖ヨゼフ修道女会に属している。81年にニューオーリンズの聖トーマス・ハウジングプロジェクトで貧しい住民に接して以来、囚人の支援に携わるようになる。彼女はルイジアナ刑務所で死刑囚のカウンセリングをし、実際に執行の立会いも経験している。それ以来、死刑制度について、講義や執筆活動、組織作りなどの活動を行っている。また、こうした活動を通して犯罪被害者の遺族にも接し、被害者支援組織の設立にも関与した。



主 催 : (社) アムネスティ・インターナショナル日本 山口グループ (070-5522-0696)

山口・島根地区カトリック正義と平和協議会、山口カトリック教会

後 援 : 山口県弁護士会